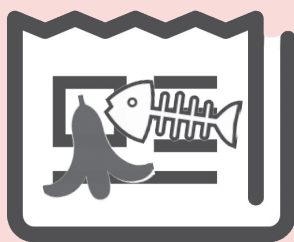




生ごみの排出にビニール袋は厳禁です!!

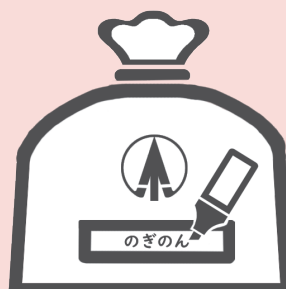
生ごみの排出方法について



①生ごみの水分を三角コーナーなどで十分に切って、新聞紙等の紙で包む



②町指定生ごみ収集用紙袋に紙(2枚以下)で包んだ生ごみを入れる



③生ごみ収集用紙袋に名前を記入して、付属の麻ひもで口の部分をしばる



④収集日に可燃ごみ集積所に出す

生ごみの収集に使用している紙袋は仕様上、生ごみの水分が十分にきれいではない場合に、紙袋の底部から水が漏れ出すことがあります。紙袋からの水漏れを防ぐために“生ごみを新聞紙等で包まずにビニール袋に入れて紙袋に入れた状態での排出”や“生ごみ収集用紙袋をビニール袋に入れて排出”といった、ビニール袋を使用した不適切な排出の仕方が散見されます。

当町で収集した生ごみは、南部清掃センターで堆肥にして再資源化しています。

ビニール袋を使用して生ごみを排出されると堆肥化の妨げになってしまいますので、このような方法での排出はおやめください。



生ごみの水分を切りましょう!

生ごみの重量のおよそ80%が水分とされています。生ごみから多くの水分が出てしまうことはやむを得ないところではありますが、ちょっとした一工夫で水分を削減して紙袋からの水漏れを防ぐことができますので実践してみましょう!

1. 生ごみの水分を絞る

三角コーナーのネットに入った生ごみを上から抑える、またはネットの先を不要になったCDの穴やペットボトルの先端などを通して絞ることで、簡単に生ごみの水分をきるすることができます。

2. 生ごみを乾燥させる

生ごみをネットなどに入れて風通しの良い場所に置くと生ごみは乾燥します。乾燥させることで生ごみの腐敗を防ぐことができますので、水漏れだけでなく臭いや虫の発生をかなり軽減できます。

なお、乾燥させた生ごみは新聞紙等で包まなくてもそのまま収集用紙袋に入れて出していただくことができます。ただし、屋外で生ごみを乾燥させる場合、乾燥させている最中は虫や臭いが発生しますので周囲の環境に配慮して行ってください。